令和8年度 チャレンジやまぐち!

地域貢献賞 受賞

周南市



周南市のまちなかに『暮らしの保健室』をつくり、人生の最後まで自分らしく暮らせるまちづくりに貢献する

特定非営利活動法人
しゅうなんまちなか保健室

活動の目的

周南市のまちなかに、気軽に医療・福祉の専門職等とつながれる『暮らしの保健室』をつくり、誰もが生まれてから人生の最後まで自分らしく暮らせるまちの実現を目指しています。

これまでの活動内容

『暮らしの保健室』は、学校の保健室のように医療や介護・暮らしの悩みを専門職に気軽に無料で相談できる場として、訪問看護師の秋山正子さんが2011年に東京都新宿区で開設した居場所で、全国各地に様々な形で広まっています。

我々も「まちなか(周南市の中心街)」にあることで多くの市民が困ったときに立ち寄れる場となり、周南市で働く専門職の「部室(交流拠点)」にもなればという思いで、市民向けの相談窓口の設置や学びの場づくり、専門職の交流の場づくりといった活動に取り組んでいます。

がん支援団体『ポポメリー』さんや「だれにもやさしいまち」を目指す『NPO法人コネクト・ワン』さんに協力頂き、周南市におけるがん支援活動として『がん晴るフェア』を開催しています。また、当法人の総会時には特別講演を企画し、『まちなか保健室』のあるべき姿や周南市の「あったらイイな!」を考える機会を提供しています。

活動内容

1 相談窓口の設置

第1・3・5水曜日（10:00～15:00）、不定期土曜日（14:00～16:00）に開所しています。どこにも相談できない、どこに相談したらいいかわからない、誰かに聞いて欲しい…そんな方のお役に立てればと思っています。

2 市民との学びの場の提供

月1回程度『学べる保健室』として、市民の皆さんの学ぶ場を企画しています。これまで、「『訪問介護』ってなにするの？」や「自分の、親の『トリセツ』書いてみよう！」といったテーマで実施しました。



3 安心できる場の提供

普段は会員さんなどが気軽に立ち寄り、お茶を飲みながら談笑しています。ここで顔見知りになり、また会っておしゃべりするのを楽しみに来られる方が多いです。お友達を連れて来られる方もおられます。



4 専門職の連携の場づくり

専門職を対象とした学びの場『わくわくワーク』や専門職を対象とした居場所『夜の保健室』を設け、共に学び、共に語ることで、地域の多職種連携が強化されていくように感じています。



5 イベント出店や社会的活動

我々の活動を知って頂くためイベントに出店し、『もしバナゲーム』を行なっています。これは自分の人生があと半年と限られたとき「何を大切にするか?」を考えるゲームです。自分の価値観に向き合う機会となります。

